

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	簡易水道運営事業	会計名称	一般会計		担当課	水道課	
		予算科目	4 款 3 項 1 目	事業番号	2350	所属長名	野島康博
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	出本宗一	
法令根拠等	水道法				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 潤いのある水環境づくり					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	潤いある水環境づくりにおいて、住環境の整備や生活安全の確保に努め、双海、中山地区の簡易水道区域内の安定的な水の供給及び安全な水づくりを行うための運営。						
事業の対象	簡易水道事業特別会計			事業の目的	簡易水道事業特別会計へ繰出金。		
事業の内容 (整備内容)	簡易水道事業会計の歳入、歳出で不足額に合わせて繰出金を支払う。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	計画的に改修・更新を行えるよう検討する。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)						
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1 年度予定	9月末の実績	1 年度実績	
直接事業費	46,694	64,379	0	0	0	64,379	簡易水道特別会計繰出金	千円	46694	64379	0	64379	
財源内訳	0	0	0	0	0	0							
国庫支出金	0	0	0	0	0	0							
県支出金	0	0	0	0	0	0							
地方債	0	0	0	0	0	0							
その他	0	0	0	0	0	0	簡易水道特別会計歳入総額	千円	96434	109896	14162	104388	
一般財源	46,694	64,379	0	0	0	64,379							
職員の人工 (にんく) 数	0.53	0.07				0.07							
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992							
※ 直接事業費+人件費	50,924	64,938				64,938							
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)										
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	5年間の合計			
					60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	300,000			
成果指標	指標	簡易水道事業繰出金÷簡易水道特別会計歳入合計			単位	区分年度	前 年度	1 年度	2 年度	目標 毎 年度			
	指標設定の考え方	簡易水道特別会計事業費における独立採算の割合を数値化することにより、費用対効果を常に意識する事務の遂行が可能となる。			⇒	目標	0.6	0.6	0.6	0.6			
	指標で表せない効果					実績	0.48	0.62					

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		施設の老朽化により、維持管理に係る費用増加の傾向にあるが、設備等の更新を定期的に行い、突発的な修繕費の増加を防ぐ。								
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5	合計点が	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	施設の維持管理等、現場の巡回点検や監視を行い各施設の現状を把握し、定期的な修繕を行うよう努めた。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	4					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	4					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	3	合計点が	B			
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	3					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	3	合計点が	B				
		コスト効率	5 4 3 2 1	3			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	3						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	4	合計点が	A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業継続と判断する。</li> <li><input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する</li> <li><input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する</li> </ul> (判断の理由) 簡易水道の料金収入のみでは、経営は成り立たないために、一般会計からの繰出しは必要であるため、事業継続と判断する。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	4					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	3					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	3	合計点が	B				
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	3			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	3						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	3	合計点が	B					
	コスト効率	5 4 3 2 1	3			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	3							
評価	所属長	事業の方向性	所属長の課題認識	簡易水道施設は、市内の山間部等に点在しており、経年劣化による老朽度の高い施設も存在しており、維持管理にかかる経費も増加傾向にある。一方で、水道料金収入は、人口減少の影響等もあり減少傾向であるため、今年度に料金改定を実施したが、経営を賄うには至っていないために、一般会計からの繰出しに頼らざるを得ない。次年度から簡易水道事業の法適化が実施されるため、事務事業の効率化を図り、一般会計の依存度を減少できるように、努力していきたい。						

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	